

2021/6/25 (Fri.) 第130号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 - 発行所 -
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込6-12-1
 SSかごまち301号室
 〒113-0021
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiiiren.jp

http://www.nichiiren.jp/

定価 1年400円 (但し日医連負担金に含む)

日医連 執行委員会を開催

令和3年度交付金支給率を承認、決定



挨拶する中川日医連委員長

日本医師連盟は、6月1日に新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、テレビ会議で執行委員会を開催した。「令和3年度交付金」、「参議院比例代表選挙」、「衆議院総選挙」について審議を行い、承認および決定した。

中川俊男日医連委員長挨拶
 執行委員会は、釜淵敏常任執行委員の司会で開会し、はじめに中川俊男委員長が、以下のよう挨拶した。
 「新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言は、九都道府県について、五月二十八日から五月三十一日から六月二十日までの期間を延長することが決定された。私は、四月の記者会見で、緊急事態宣言の期限を、日

数ではなく、陽性者の減少や病床逼迫度の改善が達成されれば解除する成果型にすることを提案した。しかし、これまでの間、緊急事態宣言は、具体的な目標も提示されず、決定打もないまま、今回、さらに延長された。医療提供体制の逼迫した現状を考慮すれば、延長には同意するが、多くの国民は、度重なる延長に疲弊している。政府には改めて具体的な対応策を示していただきたい。現在、会員の先生方にはワクチン接種について各

菅総理に「かかりつけ医の個別接種が機動力を発揮している。全国の地域医師会は頑張っている」と申し上げたところ、感謝の言葉をいただいた。全国の医師会の先生方には、希望するすべての皆さまが安心して速やかに接種を受けられるよう、改めて絶大な協力をお願い申し上げます。今年、来年は、国政選挙が行われる。日医連は、昨年九月十五日に次期参議院選挙の比例代表候補者に、現職の自見はなご氏を組織内候補として擁立

地域が集団接種および個別接種で、献身的な取り組みを進めていただいている。菅義偉総理からは、「国家レベルの緊急事態の克服に向けて、多くの医療関係者の協力が不可欠であり、日本医師会には、必要な医師の確保等、接種体制の整備への支援をお願いしたい」と協力を求められている。また、

また、一部週刊誌で報道された四月二十日に開催された自見参議院議員の「次世代の医療政策を考える会」について、「国民の皆さまにさまざまなお願いをさせていただいているなか、東京都にまん延防止等重点措置が適用された期間であり、リモート形式での参加など、極めて慎重に判断すべきであった。会員の先生方をはじめ、国民の皆さまからも多くのご意見やご指摘をいただいた。真摯に受け止めた」と説明・陳謝した。

することを正式に決定した。今後の活動期間はおよそ一年間である。日医連としての活動はもとより、都道府県、郡市区医師連盟におかれても、積極的に活動を展開していただくよう、お願い申し上げます。

また、一部週刊誌で報道された四月二十日に開催された自見参議院議員の「次世代の医療政策を考える会」について、「国民の皆さまにさまざまなお願いをさせていただいているなか、東京都にまん延防止等重点措置が適用された期間であり、リモート形式での参加など、極めて慎重に判断すべきであった。会員の先生方をはじめ、国民の皆さまからも多くのご意見やご指摘をいただいた。真摯に受け止めた」と説明・陳謝した。

次に、参議院比例代表選挙、衆議院総選挙に関して、釜淵常任執行委員から、まず、参議院比例代表選挙における自見はなご後援会活動に関する今後の対応案として、「自見議員の手柄や政策を多くの皆さまに知っていただくため、リーフレット配布、サポーター名簿の活動展開を必ず行っていたくことが肝要である。この点をご理解いただきたい。今回の目標設定は、前回獲得したサポーター数七十六万人の三割増しを目標とし、サポーター名簿の獲得目標数について百万人とする」ことを提案し、了承された。衆議院総選挙については、「十月頃までには必ず行われるので、しっかりと



交付金について説明する今村日医連副委員



選挙関連について説明する釜淵日医連常任執行委員



挨拶する自見参議院議員

(一面より)
と支援対策を講じていかなければならない」として、総選挙に向けた具体的な支援対策のうち、コロナ禍のため活動が難しい状況において、とくに「ウェブ会議」への参加と衆議院議員支部長の討議資料の作成など「広報物等に関する協力」の二つを提案した。最後にビデオレターで寄せられた羽生田たかし、自見両参議院議員の挨拶を紹介した。まず、羽生田議員は新型コロナウイルス感染症に関連し、「いち早く多くの国民がワクチン接種をすることによってコロナ対策が進むことが、医療逼迫の解消にもつながる。今まで以上に皆さまのご協力、ご支援をお願いする」と述べた。続いて自見議員は、「四月に開催された私の政策勉強会の件について、先生方に大変なご迷惑とご心配をおかけし、お詫び申



日医連執行委員会

し上げる。いただいたご批判ご意見を真摯に受け止め、これからしっかりと先生方のお役に立てるよう、緊張感をもって仕事に当たって参るので、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。現在、厚生労働委員会の理事を拝命している。次世代のこともたちのため、多くの国民の幸せと福祉の向上のために、これから日医連の先生方と一致団結して、しっかり歩みを進めて参りたい」と述べた。

日医連常任執行委員会

当日、執行委員会に先立ち、テレビ会議で日医連常任執行委員会を開催した。議事「令和三年度交付金」「参議院比例代表選挙」「衆議院総選挙」についてそれぞれ審議を行い、承認された。承認された議事は、その後開催された執行委員会で審議が行われた。



挨拶する中川日本医師会長



挨拶する鴨下国民医療を守る議員の会会長代行

標記懇談会が四月二十二日に都内において開催された。福岡資政事務局長(参議院議員・自



新型コロナウイルスワクチン接種について説明する中川日医会長(日医連委員長)

「十分」という回答は全体で一割にとどまっている。診療報酬において、院内トリアージ実施料や時

民党厚生労働部会長)の司会で開会し、まず、鴨下一郎国民医療を守る議員の会会長代行(衆議院議員)が、「今、医療は危機に瀕しているが、これからのコロナ感染拡大のなかで、日常の医療、コロナ最前線の医療をしっかりと守っていく。このためには何をなすべきか、先生方のご意見をいただきながら議論し、これからの方向性を探って参りたい」と挨拶した。続いて、中川俊男日本医師会長(日本医師連盟委員長)が、以下のように挨拶した。「新型コロナウイルス感染症第四波の真っ只中で大変な状況になっている。先行解除した三府県、とくに大阪は感染者数が大変な伸びで、三週間遅れで東京もそうなる兆しがみえている。我々は緊張感をもって対応しなければならぬ。先生方のご指導をお願い申し上げます」。

次に、政策課題に移り、まず、医療機関の経営状況について、猪口雄二日医副会長(日医連副委員長)が、日医が昨年三月以降継続して行ったアンケート調査結果を、「入院外外来と在宅」件数の対前年同月比は、昨年五月を底として徐々に回復してきているが、依然概ねマイナスであり、とくに小児科と耳鼻咽喉科のマイナス幅が大きく、長期にわたって受診控えが続いていることが窺える。一施設当たり医療収入の対前年同月比も徐々にマイナス幅が縮小しつつあるが、昨年四月から十月増減額の累計は、有床診療所▲四百九万千円、無床診療所▲七百九十一万八千円に達している。診療報酬や補助金は大きく不足している。医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業補助金は約九割の診療所で申請されており(申請予定を含む)、多くの診療所への支援になった一方で、当該補助金が「十分」という回答は全体で一割にとどまっている。診療報酬において、院内トリアージ実施料や時

国民医療を守る議員の会 役員懇談会

間外加算の特例が設けられているが、その特例を「知らなかった」という回答も少なくない。診療報酬の特例をはじめ、補助金等についても制度の内容を行き渡

らせる必要がある」と報告した。続いて、新型コロナウイルス感染症への予算確保について、松本吉郎日医常任理事(日医連常任執行委員)が、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、経済活動、社会活動等、国家の成長を支えるあらゆる活動が、安全・安心な医療提供体制のもとに成り立っていることがわかった。新型コロナウイルス感染症はもうろんのこと、今後起こり得る新興・再興感染症を想定し、どのような状況下にあっても、感染症以外の医療を確保しつつ、必要な方に必要な医療を安定的に提供することが必要である。このため、新型コロナウイルス感染症等への対策について、『新型コロナウイルス感染症患者の受入病床確保への支援策』『発熱外来診療体制(診療・検査医療機関)の維持・充実』をはじめ十項目について新たな予算措置および現行予算の大幅な増額を求める」と要望した。

出席国会議員

- 会長代行：鴨下一郎(衆)、幹事長：武見敬三(参)、事務局長：福岡資麿(参)、事務局次長：山下貴司(衆)、今枝宗一郎(衆)、幹事：橋本岳(衆)、安藤高夫(衆)、羽生田俊(参)、自見はなこ(参)

最後に、意見交換に移り、院内トリアージの実施料・時間外加算といった診療報酬における特例の周知、医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業補助金、ワクチン接種体制、高齢者ワクチン接種開始と特定健診などについて意見が交わされ、閉会した。



会場の様子

自見先生からのご寄稿いただきました

参議院議員 自見はなこ 活動報告

「国民医療の発展に向けて」



日本医師連盟の先生方におかれましては、平素より温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症対策やワクチン接種の推進にご尽力いただいておりますことに、重ねて感謝申し上げます。

このまま、ワクチン接種を行う医療機関への支援の充実を委員会の質問等で繰り返し政府に求めて参りましたところ、五月二十五日、一定回数以上の接種を行った診療所や病院に国が支払う接種費用を上乗せするなど新たな財政支援策が決定しました。現場の運用、ワクチン製

参議院決算委員会質問 ワクチン接種について

五月三十一日、参議院決算委員会に質問に立ちました。まず、新型コロナウイルスワクチンの接種会場で余剰ワクチンが発生した場合の取り扱いについて、有効活用が認められるケースを示すなど、現場で混乱が生じない対応を進めることについて田村厚生労働大臣に質問し、接種者の情報等をしっかりと確認できるケースは、接種券を持



5月31日 参議院決算委員会 田村憲久厚生労働大臣(上) 萩生田光一文部科学大臣(左)



ついでに、周知していく旨のご答弁をいただきました(参考:事務局連絡「新型コロナウイルスワクチンの接種会場で余剰ワクチンが発生した場合の取り扱いについて」https://www.mhlw.go.jp/content/000784454.pdf)。

務連絡「新型コロナウイルスワクチンの接種会場で余剰ワクチンが発生した場合の取り扱いについて」https://www.mhlw.go.jp/content/000784454.pdf)。

その他、六月四日には、看護師等のワクチン接種の担い手を確保するため、社会保険の被扶養者認定に際してワクチン接種業務に伴う医療職の収入を除外して判定できる特例が設けられることとなりました(参考:「新型コロナウイルスワクチン接種業務に従事する医療職の被扶養者の収入確認の特例について」https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_19044.html)。ワクチン接種の適切かつ迅速な進展に向け、よりいっそう頑張ります。

●**医師の働き方改革について** 決算委員会では、今国会で改正医療法が成立したことを受けて、二〇二四年四月から適用される医師の働き方改革についても取り上げました。地域医療の維持と、医師の労働環境改善という二つの難しい舵取りが、今

●**訪日外国人の医療費について** 最後に、訪日外国人の民間医療保険加入義務化について、EUの例(シェンゲン協定)を挙げつつ、わが国でも実施することについて田村厚生労働大臣、小野田紀美法務大臣政務官の見解を伺い、田村大臣からは、医療機関にとって大きな負担・問題であると認識しており、検討させていただきたいと、小野田政務官からも、今後外国人の受け入れのあり方を検討するうえで大変重要な課題と認識しており、検討していきたいとご答弁をいただきました。

●**全世代型社会保障制度について** 続いて、健康保険法の改正法案に関連して、現役世代も含めた

も、住所等に係らず接種の対象となることについて、周知していく旨のご答弁をいただきました(参考:事務局連絡「新型コロナウイルスワクチンの接種会場で余剰ワクチンが発生した場合の取り扱いについて」https://www.mhlw.go.jp/content/000784454.pdf)。

●**全世代型社会保障制度について** 続いて、健康保険法の改正法案に関連して、現役世代も含めた

●**全世代型社会保障制度について** 続いて、健康保険法の改正法案に関連して、現役世代も含めた

●**全世代型社会保障制度について** 続いて、健康保険法の改正法案に関連して、現役世代も含めた

●**全世代型社会保障制度について** 続いて、健康保険法の改正法案に関連して、現役世代も含めた

●**全世代型社会保障制度について** 続いて、健康保険法の改正法案に関連して、現役世代も含めた

Children Firstの社会の実現に向けた『子ども政策のグランドデザイン-こども庁構想-』2021年5月28日. Diagram showing '愛育' (Love/Support), '育成' (Development), and '成育' (Growth) stages with various policy points.

Children Firstの子ども行政のあり方勉強会第二次提言概要

求められ、Uの例(シェンゲン協定)を挙げつつ、わが国でも実施することについて田村厚生労働大臣、小野田紀美法務大臣政務官の見解を伺い、田村大臣からは、医療機関にとって大きな負担・問題であると認識しており、検討させていただきたいと、小野田政務官からも、今後外国人の受け入れのあり方を検討するうえで大変重要な課題と認識しており、検討していきたいとご答弁をいただきました。

●**全世代型社会保障制度について** 続いて、健康保険法の改正法案に関連して、現役世代も含めた

●**全世代型社会保障制度について** 続いて、健康保険法の改正法案に関連して、現役世代も含めた



こども庁特設サイト 「こども・若者」輝く未来創造本部提言



6月2日 臨床工学技士を支援する議員連盟第3回総会

(3面より)
下、勉強会)では、四月十三日に自民党内に菅総裁直属の検討機関「子ども・若者」輝く未来創造本部(以下、創造本部)が立ち上がった後も有識者からWeb参加登録をした地方議会議員百三十二名を対象に、意見・要望のアンケート調査を実施するなど、積極的に活動しています。



6月3日 自民党『子ども・若者』輝く未来創造本部提言取りまとめと、その後の記者会見

LMC(産前産後産後の継続ケア)、ネウボラ(周産期)就学までワンストップ相談)、Ofsted(教育水準監査局)、子どもコミッション(人権機関)、アドボカシー(子どもの立場代弁・擁護・権利実現機能)など、諸外国で導入されている取り組みについても、検討すべき視点として提起しています(勉強会の内容と提言全文は、子ども庁特設サイトをご覧下さい)。



6月4日 不妊治療への支援拡充を目指す議員連盟菅義偉総理大臣への要望申し入れ

六月二日に議連総会を開催し、厚生労働省から今回の臨床工学技法の改正と、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推進するための各医療関係職種における専門性を踏まえた対応のあり方等に関する検討会、感染症対応を踏まえた第八次医療計画策定について説明がありました。



「国民医療を守る議員の会」役員懇談会にて

六月八日現在で累計千九百三十七万六千八百八十五回という国内接種の状況であります。



「在宅医療推進議員連盟」にて挨拶

菅義偉内閣総理大臣の二日百万回接種という目標のもと、医療機関や集団接種はもとより、自衛隊による東京・大阪での大規模接種、そして職域接種も調整がなされています。



社会保障制度調査会「創薬力の強化育成に関するPT」にて

四月二十六日より実技研修の受講等を条件に接種者として歯科医師が特例として認められました。現在臨床検査技師・救急救命士による接種も検討が始まっています。法律の枠を超えた「特例」という状態での医行為にはさまざまな意見があり、私自身も忸怩たる思いがありますが、さりとて接種を希望する国民全員にワクチン接種を届けることは、この国の医療者としての使命と責任であると感じております。



超党派「適切な遺伝治療を進めるための社会的環境の整備を目指す議員連盟」総会にて

現在診療を抱える先生方におかれましては、ご負担は重々存じたくはありますが、可能な限りの接種業務への協力をいただきますようお願いいたします。

また、済生会宇都宮病院栃木県救命救急センター長・NPO法人日本ECMOnet理事の小倉崇以先生を講師にお迎えし、「臨床工学技士の役割と評価について」ICU等における

羽生田 たかし 活動報告



自民党厚生労働部会長代理
参議院議員

羽生田先生からご寄稿いただきました

「ワクチン接種の現状」
平素より私の政治活動にご理解を賜り感謝申し上げます。ファイザー社に続き新たに二種の新型コロナウイルスが特例承認となり、モデルナ社ワクチンは五月二十四日から東京・大阪での大規模接種会場で、アストラゼネカ社ワクチンは国際協力として台湾に無償提供されております。

また、済生会宇都宮病院栃木県救命救急センター長・NPO法人日本ECMOnet理事の小倉崇以先生を講師にお迎えし、「臨床工学技士の役割と評価について」ICU等における
新型コロナウイルス感染症重症対応にあたって「アーマ」にご講演いただき、日本集中治療医学会、日本救急医学会の先生方にもご臨席いただき、活発な意見交換ができました。